

● カフェロップ

【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
 - (1) 次の症状のある人
胃酸過多
 - (2) 次の診断を受けた人
心臓病、胃潰瘍

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないで下さい。
 - 他の眠気防止薬

3. コーヒーやお茶等のカフェインを含有する飲料と同時に服用しないで下さい。

4. 短期間の服用にとどめ、連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 授乳中の人

【解 説】

1.
 - (1) カフェインには胃酸分泌作用があるので、胃酸過多の症状のある人は服用を避ける必要があります。
 - (2) 次の診断を受けた人は、本剤の服用により症状を悪化させるおそれがあるため、服用を避ける必要があります。
 - 心臓病
カフェインは、中枢神経系に作用して眠気を除去するとともに、循環器系にも作用しますので、服用を避ける必要があります。
 - 胃潰瘍
カフェインには胃酸分泌作用があるので、服用を避ける必要があります。

2. 共通事項解説〔2〕参照

3. 本剤をコーヒーやお茶などのカフェインを含有する飲料と同時に服用すると、カフェインの過量服用となり、中枢神経系や循環器系に作用が強くあらわれるおそれがあります。

4. 本剤は一時的に居眠りを防止する目的で服用するものです。連用による睡眠不足の結果、事故を起こすおそれがありますので、連用しないで下さい。

1.
 - (1) 共通事項解説〔4〕参照
 - (2) 共通事項解説〔5〕参照
 - (3) カフェインは母乳に移行することが知られていません。乳児への具体的な有害反応は不明で、安全性は確立されていないため、服用前に専門家に相談して服薬指導等の指示を受ける必要があります。

●カフェロップ

【使用上の注意】

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
消化器	食欲不振、吐き気・嘔吐
精神神経系	ふるえ、めまい、不安、不眠、頭痛
循環器	動悸

【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 服用間隔は4時間以上として下さい。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. スティック包装開封後は速やかに服用して下さい。
5. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる外箱を持参の上、専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. カフェインの血中半減期は2.5～4.5時間です。血中濃度の必要以上の上昇を避けるため、4時間以上の服用間隔をあけて下さい。

1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. スティック包装開封後は、吸湿して品質に影響を及ぼすので、早めに服用して下さい。
5. 共通事項解説〔17〕参照